

中村栗園 中村 栗園 舊水口藩儒。文化二年豊前國中津生れ。明治十四年十一月二十日歿（八〇六一八二）。舊姓片山、諱和、字子藏、通稱片山和藏、中村二郎。別號半仙子、栗翁。帆足萬里、龜井詔陽の學に、篠崎小竹の推薦で水口藩儒實となり、藩儒中村介石の養子となる。幕末藩政に參與して藩論を統一。明治二年大参事、翌年致任。中村権室はその養嗣子。

著書 『栗園詩稿』 (中村栗園名、中村鼎五輯、明治十七年十月發行、今草堂主人) 等。